

CAD製図専門学校工業専門課程 CAD製図科 建築コース  
2022年度(令和4年度) シラバス

学校法人 古藤学園 CAD製図専門学校

CAD製図専門学校 工業専門課程 CAD製図科 建築コース 授業科目一覧

CAD製図 建築コース		履修学年別単位数／履修時間					
		1年			2年		
	科 目	単位数	年時間数	週コマ数	単位数	年時間数	週コマ数
一般	工業数学	2	60	1			
	進路指導				2	60	1
専門科目	建築一般構造Ⅰ	2	60	1			
	建築一般構造Ⅱ				2	60	1
	住居計画	2	60	1			
	建築計画Ⅰ	2	60	1			
	建築計画Ⅱ				2	60	1
	建築史	2	60	1			
	建築設備				2	60	1
	建築材料	2	60	1			
	建築施工				2	60	1
	建築積算				2	60	1
	建築法規	2	60	1			
	構造力学Ⅰ	2	60	1			
	構造力学Ⅱ				2	60	1
	環境工学				2	60	1
	都市計画				2	60	1
	デザイン工学	4	120	2			
	デザイン応用				4	120	2
演習科目	建築設計製図Ⅰ	12	360	6			
	建築設計製図Ⅱ				12	360	6
	建築CAD	6	180	3			
	画像処理	2	60	1			
	卒業制作				6	180	3
	小 計	40	1200	20	40	1200	20
	合 計				80	2400	

科目	工業数学			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60	
目標	<p>建築を学ぶ上で、いろいろな分野に数学が深く関わっている。建築学の専門的な分野に入る際、基本的な数学の知識が必要とされる。また、これらの数学が建築学とどのように関連するのか理解をする。数学を学び直すことによって建築の基礎的知識も身につける。</p>										
内 容											
1 単位・大きさ	1.量・長さ・広さ 2.割合 3.平均 4.単位 5.建築の面積	5 平面角と立体角	1.平面角 2.立体角	2 数式の基礎知識	1.面積と体積 2.不等式と大小関係 3.比と比例式 4.基本的な数式 5.平方根 6.連立方程式 7.二次方程式	6 指数と対数	1.指数と対数の関係 2.指数 3.対数 4.建築に関する指数と対数	3 三角関数	1.三角形の角度と辺の長さの関係 2.三角関数 3.建築に関する三角関数	7 微分・積分	1.微分 2.極大・極小とその傾き 3.積分 4.建築に関する微分と積分
4 ベクトル	1.ベクトルの性質 2.ベクトルの合成 3.ベクトルの作図と角度 4.建築に関するベクトルと三角関数	8 グラフ	1.基本的な関数グラフ 2.グラフの傾き 3.関数の最大値と最小値 4.その他のグラフ								
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
「図説やさしい建築数学」 今村仁美・大谷一翔 学芸出版社											
						担当講師	松山 哲則				

科目	進路指導			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	<p>本学卒業後の進路について、就職環境を理解し、就職のための活動を進めるノウハウを学ぶ。自己表現力を高め、自己ベストの履歴書が書けるようになる。また、社会人としての心構えと基本的マナーを身につける。</p>									
内 容										
1 環境と状況の理解	1.進路希望を明確にする 2.就職事情を知る 3.工業系の進路の可能性	8 就活マナー	4.新入社員の基本の心構え							
2 情報収集の方法	1.ハローワークの利用方法 2.就活サイトの登録と利用 3.会社説明会情報に敏くなる		1.インターンシップのルール 2.エントリーの方法							
3 活動実践	1.合同説明会参加 2.就活の服装とマナー									
4 業界研究	1.工業系の進路の研究 2.会社の狙いをつける 3.志望動機を考える									
5 自己分析	1.自己分析ワーク1:長所短所 2.自己分析ワーク2:自己PR 3.履歴書ワーク									
6 活動レビュー	1.就活の自己反省・自己評価 2.目標・狙いを明確にする									
7 社会人マナー	1.口語・敬語マナー 2.ビジネスマナーABC 3.ビジネス文書マナー									
評 価										
平常点による										
教 材										
適宜										
						担当講師	白滝 章裕			

科目	建築一般構造 I		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60
目標	建築物の主要な構造方式の概要を理解させ、併せて建築計画等の実践に対応する応用力を養う。「建築一般構造 I」では木造在来工法を中心に、その基本的事項を学習する。								
内 容									
1 建築構造のあらまし	1.建築構造のなりたち 2.建築構造の歴史的発達 3.建築構造の分類 4.建築物にはたらく力 5.関連する法律・規準								
2 木構造	1.構造の特徴と構造形式 2.木材 3.木材の接合 4.基礎 5.軸組 6.小屋組 7.床組 8.階段 9.開口部 10.外部仕上げ 11.内部仕上げ 12.木造枠組壁構法								
3 鉄筋コンクリート構造	1.構造の特徴と構造形式 2.鉄筋 3.コンクリート								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「図説 やさしい建築一般構造」今村仁美、田中美都著 学芸出版社									
					担当講師		白滝 章裕		

科目	建築一般構造Ⅱ			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	建築物の主要な構造方式の概要を理解させ、併せて建築計画等の実践に対応する応用力を養う。「建築一般構造Ⅱ」では鉄筋コンクリート構造及び鋼構造を中心に、その基礎的事項を学習する。									
内 容										
1 鉄筋コンクリート構造	1.基礎 2.主体構造 3.仕上げ 4.壁式構造 5.プレストレスコンクリート構造	4 PC構造	1.構造原理 2.定着、部材製作、変形 3.施工、場所打ちPC 4.プレキャストPC部材 5.PC組立ラーメン構造							
2 鋼構造	1.構造の特徴と構造形式 2.鋼と鋼材 3.鋼材の接合 4.基礎 5.骨組 6.仕上げ 7.軽量鋼構造と鋼管構造 8.鉄骨鉄筋コンクリート構造									
3 特殊コンクリート構造	1.特質及び種別 2.補強コンクリートブロック造 3.型枠コンクリートブロック造 4.第2種型枠ブロック造 5.組積造									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「図説 やさしい建築一般構造」今村仁美、田中美都著 学芸出版社										
						担当講師	片平 眞知子			

科目	住居計画			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60
目標	<p>建築計画の基本となる住居計画を学習する。住まいの歴史的な時間の流れ、地域によって異なる環境、風土、文化や社会的背景が住居計画にどのようにおよぼしたかを学ぶ。住居系建築物における各部分の寸法、人間工学の基づく寸法、居室の平面計画、断面計画、インテリア計画、水廻り計画、動線計画、また、高齢者、障がい者の住居計画も学習する。</p>									
内 容										
1 住居の歴史的流れ	1.民家 2.近代住宅 3.現代独立住宅 4.現代集合住宅	5 住居のインテリア	5.アクティブデザイン 6.風土と住居							
2 寸法・規模	1.家族構成 2.人体寸法 3.人体と尺度 4.生活姿勢と動作		1.住居用家具 2.造作部品 3.ウインドトリートメント 4.カーペット 5.照明							
3 行為と部屋	1.寝室 2.食事 3.調理 4.育児・学習 5.排泄・整容 6.入浴 7.洗濯・掃除 8.外出・移動 9.団欒・接客 10.趣味・余暇		6 高齢者・障がい者と住居	1. 外出 2.室内移動 3.排泄 4.入浴 5.更衣・洗面・整容 6.調理・団欒 7.寝室						
4 環境	1.寒さ・暑さと住居 2.雨・風と住居 3.光・音と住居 4.パッシブデザイン									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「図説・日本住宅の歴史」 平井聖著 学芸出版社										
						担当講師	郡山 貞子			

科目	建築計画 I			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60	
目標	各種建築の建築計画の基礎知識を習得する。学校教育施設、社会教育施設について、施設の役割、変遷、配置計画、平面計画、各室計画の要点を学習し、設計の基本的な考える力を養う。										
内 容											
1 幼稚園・保育所	1.幼稚園・保育所の変遷 2.幼稚園・保育所の計画 3.各室計画										
2 小学校・中学校	1.小学校・中学校の変遷 2.学校の計画 3.校舎の計画 4.新しい教育形態への対応										
3 生活圏とコミュニティ施設	1.地域計画とコミュニティ施設 2.社会教育施設が地域社会に果たす役割										
4 図書館	1.図書館の変遷 2.公共図書館の役割 3.地域図書館の計画 4.地域図書館の各室計画										
5 美術館	1.美術館の変遷 2.美術館の計画 3.各室計画										
6 コミュニティセンター・公民館	1.地域集会施設の概要 2.公民館・コミュニティセンターの計画										
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
教科書「初学者の建築講座建築計画(第三版)」 佐藤考一、五十嵐太郎共著 市ヶ谷出版社 スライド、DVDビデオ											
						担当講師	郡山 貞子				



科目	建築計画Ⅱ			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	各種建築の建築計画の基礎知識を習得する。医療施設施設、福祉施設、商業施設について、施設の役割、変遷、配置計画、平面計画、各室計画の要点を学習し、設計の基本的な考える力を養う。									
内 容										
1 高齢社会と建築計画	1.高齢社会の到来 2.高齢者対応の枠組 3.ユニバーサルデザインの射程	6 百貨店・スーパーマーケット	1.百貨店・スーパーマーケットの変遷 2.大規模小売店の計画 3.売場の計画							
2 病院	1.病院の誕生 2.病院の計画 3.病院の部門構成 4.各室計画	7 宿泊施設	1.宿泊施設の変遷 2.宿泊施設の種類 3.ホテルの計画 4.各室計画							
3 高齢者施設	1.高齢者施設の分類 2.介護を目的とした福祉施設 3.療養・機能回復を目的とした福祉と病院の中間的施設 4.高齢者のための在宅利用施設 5.高齢者のための居住施設 6.各室計画	8 緑化	1.屋上緑化 2.屋根緑化 3.壁面緑化 4.インテリアとしての緑化 5.建築と造園							
4 事務所ビル	1.事務所ビルの変遷 2.事務所ビルの計画 3.規模計画のための原単位									
5 劇場・音楽ホール	1.劇場・音楽ホールの変遷 2.劇場・音楽ホールの計画 3.客席の計画 4.舞台の計画									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「初学者の建築講座建築計画(第三版)」佐藤考一、五十嵐太郎共著 市ヶ谷出版社 スライド、DVDビデオ										
						担当講師	宇野 浩生			

科目	建築史		必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60	
目標	建築の形態・空間及び意匠を形成過程の中で捉え、創造的な歴史的視点を養う。また、建築学の学習の基礎となる思想・概念・建築家・建築作品等を習得する。									
内 容										
1 日本建築史	1. 竪穴式住居と高床式住居 2. 古代の神社建築 3. 仏教建築の伝来 4. 古代の都市計画と住宅 5. 浄土教の建築 6. 中世の仏教建築 7. 中世の神社建築 8. 中世の住宅から書院造へ 9. 城郭建築 10. 茶室と数奇屋 11. 近世の寺社建築			3 西洋建築史	1. エジプト建築 2. オリент建築 3. ギリシア建築 4. ローマ建築 5. 初期キリスト教建築 6. ビザンティン建築 7. イスラム建築 8. ロマネスク建築 9. ゴシック建築 10. 中世の世俗建築 11. ルネサンス建築 12. バロック建築 13. リヴァイヴァル建築					
2 日本近代建築史	1. 西洋文化の移入 2. 日本人建築家の誕生 3. 様式建築の展開と新しい様式の模索 4. 都市計画および構造技術の発達 5. モダニズム建築の到来 6. 戦災復興から高度成長期にかけて 7. 戦後の住宅政策とDK住宅の誕生 8. 日本建築界からの発信 9. モダニズムの先を求めて									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「建築史」 桐島真次郎著 実教出版 スライド、DVD										
					担当講師	松山 哲則				

科目	建築設備			必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	給排水、空気調和、電気等の建築設備の基本的事項を習得させる。また、各種建築物の設備計画のあり方を考える能力を養う。									
内 容										
1 設備計画を始め前に	1.建築設備とは 2.戸建住宅の設備 3.集合住宅の設備								4.空調の種類 5.空気線図と結露 6.放射冷暖房 7.床暖房の種類	
2 給排水・給湯の基本	1.給水方式 2.必要水量 3.受水槽の設置 4.排水設備 5.戸建住宅の排水経路 6.集合住宅の排水経路 7.排水槽 8.雨水計画 9.浄化槽の選定 10.給湯方式と給湯量 11.給湯機の種類 12.ガス設備 13.配管の種類 14.衛生器具の選び方 15.熱源・熱搬送設備と機器部材 16.換気・排煙設備 17.自動制御設備	4 電気・通信の基本						1.電気の引込み 2.コンセント 3.オール電化住宅 4.照明の基礎 5.住宅用照明 6.インターホンと防犯設備 7.ホームエレベーター		
3 換気・空調の基礎	1.換気の種類と方法 2.居室の換気計画 3.セントラル換気システム									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書「初めての建築設備」〈建築テキスト〉編集委員会編 学芸出版社										
						担当講師	高橋 潤			

科目	建築材料			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60	
目標	各種建築材料について、その特性、品質、耐久性、形状、寸法を理解させ、安全、健康、快適な建築の提案ができるよう能力を養う。										
内 容											
1 建築材料の概要	1.建築と建築材料 2.建築材料の分類 3.建築材料と性能				5 防火・耐火、断熱・防音材料	1.概要 2.防火・耐火材料 3.断熱・防音材料					
2 構造材料	1.木材 2.鋼材 3.コンクリート										
3 仕上材料	1.概要 2.木、竹製品 3.セメント・コンクリート・石こう製品 4.金属製品 5.タイル・れんが 6.ガラス 7.石材 8.左官・吹付材料 9.畳、繊維製品 10.プラスチック材料 11.塗料 12.接着剤										
4 防水材料	1.防水材料の使われ方 2.防水材料										
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
教科書「図説 建築材料」 武田雄二・西脇進・鷺見勇平著 学芸出版者											
						担当講師	宇津宮 巨一				

科目	建築施工		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	建築物を生産する上で必要な各種工事の基礎事項を法規や基・規準に照らし合わせて学習する。また、施工技術や施工管理の留意点を捉える能力を養う。								
内 容									
1 建築生産	1.建築生産とは何か 2.施工形態							3. 床 4. 鉄骨階段 5. 耐火被覆	
2 施工者の選定、請負契約	1.工事契約の方式 2.工事監理者の業務		8 屋根・防水工事					1. 屋根工事 2. 防水工事 3. シーリング工事	
3 安全・衛生・管理	1.施工計画の立案 2.品質管理 3.安全衛生管理 4.環境管理 5.建設材料の保管と管理		9 仕上工事					1. 左官工事 2. タイル・石工事 3. 建具・ガラス工事 4. 金属工事 5. 内装工事 6. 塗装・吹付け工事 7. ユニット工事 8. 断熱工事 9. 外壁工事(カーテンウォール)	
4 仮設工事・準備工事	1.共通仮設工事 2.直接仮設工事 3.準備工事								
5 土工事、地業、基礎工事	1.土工事 2.地業・基礎工事								
6 鉄筋コンクリート工事	1.鉄筋工事 2.型枠工事 3.コンクリート工事								
7 鉄骨工事	1.工場製作 2.工事現場施工								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「誰でもわかる建築施工」 雨宮幸蔵、新井一彦著 彰国社									
					担当講師		甘楽 日出夫		

科目	建築積算		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	建設業における原価構成を理解させ、積算技術、建設コストを学習する。また、建築構造別に土工事、躯体工事、仕上げ工事の数量積算を学習する。								
内 容									
1 積算の概要	1.積算の種類 2.工事費の構成 3.積算方式 4.数量の計算								
2 土工・地業	1.積算の区分と順序 2.設計例 3.土工の数量 4.地業の数量								
3 鉄筋コンクリート造の積算	1.積算の区分と順序 2.鉄筋の数量 3.設計例								
4 鉄骨造の積算	1.積算の区分と順序 2.鉄骨の数量 3.設計例								
5 木造の積算	1.積算の区分と順序 2.設計例 3.土工事・地業工事の数量 4.躯体工事の数量 5.仕上げ工事の数量								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「改訂版 初めての建築積算」(建築テキスト)編集委員会編 学芸出版社									
					担当講師		甘楽 日出夫		

科目	建築法規			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60
目標	建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する基準として規定された建築基準法を理解させる。併せて、施行令や告示の運用力を養う。									
内 容										
1 建築士法	1.建築士の「業務・設計・工事監理」の範囲	5 集団規定	1.道路の定義 2.用途地域の種類と建築制限 3.客積率、建ぺい率の制限 4.道路、隣地、北側斜線制限 5.防火地域、準防火地域の建築制限 6.日影規制							
2 総括規定	1.用語の定義 2.面積の算定方法 3.建築物の高さの算定 4.地階一階数・地盤面の算定 5.延焼のおそれのある部分	6 関連法規	1.都市計画法 2.建設業法 3.消防法 4.高齢者移動等円滑化法							
3 制度規定	1.確認を要する建築物・工作物・建築設備 2.建築手続きの種類									
4 単体規定	1.木造建築物の一般的制度 2.階段各部の寸法 3.居室の天井高、床下換気 4.居室の採光、採光計算 5.出口に関する規定、廊下の 6.避難階段と非常用進入口 7.構造計算の原則 8.木構造の強度規定 9.構造耐力上必要な軸組 10.換気設備の設置と構造 11.非常用照明装置の設置と構造									
評 価										
定期試験及び平常点による総合評価										
教 材										
「井上建築関連法令集[平成31年度版]」 建築法令研究会編 井上書院										
						担当講師	白滝 章裕			

科目	構造力学 I			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60	
目標	<p>建物に力が作用した場合の骨組各部に生じる応力を知ることは、安全な建物を設計するうえで重要である。力の釣り合いを理解した上で簡単なはりに力が作用した場合の応力の求め方を学ぶとともに応力図を描けるようにする。加えて基本的なラーメン構造の応力計算方法について学ぶ。</p>										
内 容											
1 力の性質と力の釣り合い 8時間(4コマ)	1.力の合成と分解 2.力の釣り合い 3.演習問題										
2 骨組のモデル化 16時間(8コマ)	1.骨組のモデル 2.支点 3.ラーメン 4.トラス 5.荷重の種類とモデル化 6.支点反力 7.演習問題										
3 はりの応力 16時間(8コマ)	1.部材応力の種類 2.単純はりの応力 3.演習問題 4.片持梁の応力 5.演習問題										
4 静定ラーメンの解法の概要 20時間(10コマ)	1.片持ち式ラーメン 2.演習問題 3.単純支持ラーメン 4.演習問題										
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
教科書「建築構造力学 I 静定構造力学を学ぶ」 坂田弘安、島崎和司著 学芸出版社											
						担当講師	姉川 剛				



科目	構造力学Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	<p>20時間(10コマ)は静定トラス等の応力解法について学習し、さらに応力図の描き方についても修得する。  40時間(20コマ)は不静定構造物の解析を固定モーメント法、たわみ角法の算出法を修得する。</p>								
内 容									
1 静定トラス 8時間(4コマ)	1.トラスの種類と解法の考え方 2.節点法による解法 3.切断法による解法								<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間荷重が作用しない構造物を解く</li> <li>・中間荷重が作用する構造物を解く</li> </ul>
2 仕事とエネルギー 6時間(3コマ)	1.外力による仕事 2.部材の歪エネルギー 3.エネルギー保存則とその応用								<ul style="list-style-type: none"> <li>3.たわみ角法 14時間(7コマ)</li> <li>・たわみ角法の基本式</li> <li>・たわみ角法による解法</li> </ul>
3 仮想仕事の法則 6時間(3コマ)	1.単位荷重法 2.はりの変形 3.ラーメンの変形 4.トラスの変形								
4 不静定構造物の解析 40時間(20コマ)	1.曲げモーメントからせん断力と軸方向を求める 12時間(6コマ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲げモーメントから外力とせん断力を求める</li> <li>・荷重と曲げモーメントからせん断力と軸方向力を求める</li> </ul> 2.接点移動しない構造物の解析 14時間(7コマ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定モーメント法</li> <li>・接点移動しない構造物</li> </ul>								
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「建築構造力学Ⅱ 不静定構造力学を学ぶ」 坂田弘安、島崎和司著 学芸出版社									
					担当講師		宇野 浩生		

科目	環境工学		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60		
目標	<p>望ましい室内環境を形成するための物理的・生理的・心理的な知見を整理、統合し、建築計画に役立てるようにする。最近では、建築が都市や地球環境に及ぼす影響が注目され、ヒートアイランドや地球温暖化対策としての建築のあり方にも大きな関心もたれている。このような現状をふまえて、適切な建築計画を行えるように、環境工学を学習する。</p>										
内 容											
1 日照・日射環境	1.太陽位置 2.日照と日影 3.日射	7 音熱環境	1.人体周りの熱収支 2.温熱感覚指標	2 光環境	1.測光量 2.明視環境の確保 3.採光 4.人工照明	8 都市・地球環境	1.外界気象 2.都市環境と地球環境	3 色彩環境	1.色彩の表し方 2.色彩計画	9 音環境	1.音の性質 2.騒音評価と遮音効果 3.音響計画
4 空気環境	1.室内空気環境 2.自然換気の計画 3.機械換気の計画			5 熱環境	1.熱の流れの基礎 2.熱貫流と日射 3.建物全体の熱特性			6 湿気環境	1.湿り空気と露点温度 2.結露		
評 価											
定期試験及び平常点による総合評価											
教 材											
教科書「改訂版 はじめての建築環境」〈建築テキスト〉編集委員会編 学芸出版社											
					担当講師		白滝 章裕				

科目	都市計画		必修	履修学年	2	単位数	2	時間数	60
目標	<p>これからの建築と都市とは、建築とまちづくりとは何かを理解する。建築と都市の歴史や、建築および都市計画に関わる制度を学び、市民・地域住民やコミュニティといったネットワークとの繋がりを理解し、過去や現在の建築・都市計画の法制度のあり方も、高度なものが求められて、今後の建築・都市設計に生かすことを目的とする。</p>								
内 容									
1 建築から概観した都市の歴史	1.建築空間によって構成される都市について 2.西洋の都市と東洋の都市 3.ヨーロッパの都市の成立 4.中国の都市の成立 5.日本の都市の成立 6.建築による都市化について							5.都市交通の計画技術 6.市街地開発事業 7.都市と防災 8.建築・都市の景観とまちづくり 9.まちづくりと制度と技術 10.海外の都市計画制度 11.都市計画制度の展望	
2 都市計画概論	1.都市と都市計画 2.都市と市街地 3.都市の住まいと環境 4.地区計画のデザイン 5.都市の再生と交通システム 6.都市と自然 7.都市を再生する 8.都市と防災 9.都市の景観まちづくり 10.参加・協働のまつづくり 11.諸外国の事例 12.21世紀の日本の都市計画	4 日本の都市空間					1.都市空間の形成 2.都市空間の技法		
		5 歴史的まちなみ					1.京都東山地区 2.高山市上三之町 3.白川郷・五箇山 4.馬籠宿、妻籠宿 5.大内宿 6.宿根木		
3 建築と都市と環境	1.都市計画制度とマスタープラン 2.土地利用計画 3.建築のコントロール 4.建築協定・地区計画	6 ランドスケープデザイン					1.公園・都市緑地計画 2.都市と水空間 3.ストリートペーパメントとランドスケープファーニチャー 4.歩行車空間		
評 価									
定期試験及び平常点による総合評価									
教 材									
教科書「初めて学ぶ 都市計画(第二版)」 饗庭伸・鈴木伸治著 市ヶ谷出版									
					担当講師		高橋 潤		

科目	デザイン工学		必修	履修学年	1	単位数	4	時間数	120
目標	立体認識力を高め、物を構築出来るようになる事。人間工学に基づいた設計を考えられるようになる事。各種表現、デザイン法を学ぶこと。								
内 容									
1 各種透視図法	1.アイソメトリックとアクソメトリック 2.一点透視法と二点透視法								
2 コンピュータグラフィックス	1.イラストレーターを使い、基本操作、各種表現をマスターする								
3 色の理解	1.色彩の基本 2.色彩と心理								
4 人間工学	1.構築部の記号化 2.室内の動線 3.機能複合 4.可変性、可動性、可逆性								
5	小演習								
評 価									
作品課題及び平常点による総合評価									
教 材									
					担当講師		姉川 剛		

科目	デザイン応用		必修	履修学年	2	単位数	4	時間数	120	
目標	デザインを通して、物の必要性・存在を学び、自らの考え、および社会が求めるものを表現できるようにする。									
内 容										
1 物体の把握	1.鉛筆デッサン 2.クロッキー									
2 色彩	1.色紙を使用した音の表現 2.色紙による人のイメージ表現									
3 創造性	1.絵本を読み模型、図面の制作 (グループ課題) 2.本を読み図面を作成									
評 価										
作品課題及び平常点による総合評価										
教 材										
					担当講師	片平 眞知子				

科目	建築設計製図 I		必修	履修学年	1	単位数	12	時間数	360
目標	木造住宅(在来工法)・鉄筋コンクリート造完成図をトレースすることにより、図面(1/200,1/100,1/30程度)の読み方、描き方を修得し、木造住宅の設計課題を通して設計及び表現の概要を学習する。後期において、木造独立専用住宅、集合住宅の設計を行い設計力、デザイン力を身につける。								
内 容									
1 線・レタリングの練習	1.線・レタリングの練習	6 木造独立専用住宅の設計	1.配置図 1/200 2.1階平面図 1/100 3.2階平面図 1/100 4.矩計図 1/30 5.断面図 1/100 6.立面図 1/100 7.模型 1/50						
2 木造住宅のトレース	1.配置図 1/100 2.1階平面図 1/100 2.2階平面図 3.断面図(2面) 1/100 4.立面図(4面) 1/100 5.基礎・床・小屋伏図 1/100 6.屋根伏図 1/100 7.矩計図 1/21	7 集合住宅の設計(共同設計)	1.配置図 1/200 2.各階平面図 1/100 3.立面図 1/100 5.断面図 1/100 7.模型 1/100						
3 鉄筋コンクリート造のトレース	1.配置図兼1階平面図 1/100 2.2階平面図 1/100 3.断面図(2面) 1/100 4.立面図(4面) 1/100 5.矩計図 1/30								
4 6. 4mキューブの家	1.エスキス 2.配置図兼1階平面図 1/50 3.地下階平面図 1/50 4.2階平面図 1/50 5.断面図(1面) 1/50 6.立面図(2面) 1/50 7.模型 1/50								
評 価									
提出物図面の評価が基準となり、出欠、授業態度等が加味される。									
教 材									
教科書 「初めて学ぶ設計製図」(建築テキスト)編集委員会編 学芸出版社 参考書 「コンパクト建築設計資料集成」日本建築学会編 丸善									
担当講師						安保 智基 宇津宮 巨一 郡山 貞子			

科目	建築設計製図Ⅱ		必修	履修学年	2	単位数	12	時間数	360
目標	「設計製図Ⅰ」において修得した、鉄筋コンクリート造ラーメン構造、壁構造の基礎知識を活かし、プランニング方法をトレーニングし、避難計画、防災計画、設備計画、外構計画など、店舗兼用住宅、小中規模のビルの計画の中で熟慮する。								
内 容									
1 RC壁構造による店舗付き住宅	1.エスキス 2.配置図 1/100 3.各階平面図 1/100 4.立面図 1/100 5.断面詳細図 1/50 6.模型 1/50								
2 RCラーメン構造によるオフィスビル	1.エスキス 2.配置図 1/200 3.平面図 1/200 4.立面図 1/200 5.断面図 1/200								
3 RCラーメン構造、または鉄骨造による図書館	1.エスキス 2.配置図 3.平面図 4.立面図 5.断面図 6.模型								
4 美術館の設計(構造:自由)	1.エスキス 2.配置図 3.平面図 4.立面図 5.断面図 6.模型								
評 価									
提出物図面の評価が基準となり、出欠、授業態度等が加味される。									
教 材									
教科書 「初めて学ぶ設計製図」(建築テキスト)編集委員会編 学芸出版社 参考書 「おさまり詳細図集 2コンクリート・鉄骨造の仕上編」理工学社 参考書 「コンパクト建築設計資料集成」日本建築学会編 丸善									
担当講師						宇野 浩生 高橋 潤 深井 準一 松山 哲則			

科目	建築CAD			必修	履修学年	1	単位数	6	時間数	180
目標	<p>1. 簡単な図形の描き方から始めた基本的なCADの操作法を学ぶ。</p> <p>2. CADによる家具図・インテリア製図を行うことによって、基本的な製図法及びCAD技術を習得。</p> <p>3. 建築設計製図などの他科目との連動による住宅計画、及びCADによる設計製図により、CAD技能と設計力の習熟度を増す。</p>									
内 容										
1 ガイダンス	<p>1. CADの概念</p> <p>2. メニュー使用法</p> <p>3. ツール使用法</p> <p>4. パレット使用法</p> <p>5. 基本図形描画</p> <p>6. 線図形・面図形</p> <p>7. 図形の加工と編集</p> <p>8. 演習</p>			4 住宅設計	<p>1. 建築設計製図等の他教科との連動による設計力の強化</p> <p>2. 上記CAD技能の再確認及び修練</p> <p>3. 図形の属性編集</p> <p>4. レイヤ・クラス編集</p> <p>5. グループとシンボル編集</p> <p>6. マクロツール</p> <p>7. 面積計算</p> <p>8. 模型作成</p> <p>9. プレゼンテーション</p>					
2 家具図作成	<p>1. テーブルの三面図</p> <p>2. 寸法と文字</p> <p>3. 面貼り・色付け</p> <p>4. 3DCAD概説</p> <p>5. テーブルの3D化</p> <p>6. 図面のレイアウト</p> <p>7. 収納棚の三面図</p> <p>8. 収納棚の3D化</p> <p>9. 出力と電子化</p>									
3 インテリア製図作製	<p>1. 平面図作成</p> <p>2. 展開図作成</p> <p>3. 他データの挿入一応用</p> <p>4. 3DCG用図面化</p> <p>5. CG画像の読込・レイアウト</p> <p>6. 出力・プレゼンテーション</p>									
評 価										
課題及び平常点による総合評価										
教 材										
教科書 「できるAutoCAD 2019/2018/2017/1016/1015対応」 できるシリーズ編集部 矢野悦子著 インプレス										
担当講師						白岩 秀基 宇津宮 巨一				



科目	画像処理			必修	履修学年	1	単位数	2	時間数	60
目標	<p>1. 簡単な図形の描き方から始めた基本的なCADの操作法を学ぶ。</p> <p>2. CADによる家具図・インテリア製図を行うことによって、基本的な製図法及びCAD技術を習得。</p> <p>3. 建築設計製図などの他科目との連動による住宅計画、及びCADによる設計製図により、CAD技能と設計力の習熟度を増す。</p>									
内 容										
1 ガイダンス	<p>1.CADの概念</p> <p>2.メニュー使用法</p> <p>3.ツール使用法</p> <p>4.パレット使用法</p> <p>5.基本図形描画</p> <p>6.線図形・面図形</p> <p>7.図形の加工と編集</p> <p>8.演習</p>				4 住宅設計	<p>1.建築設計製図等の他教科との連動による設計力の強化</p> <p>2.上記CAD技能の再確認及び修練</p> <p>3.図形の属性編集</p> <p>4.レイヤ・クラス編集</p> <p>5.グループとシンボル編集</p> <p>6.マクロツール</p> <p>7.面積計算</p> <p>8.模型作成</p> <p>9.プレゼンテーション</p>				
2 家具図作成	<p>1.テーブルの三面図</p> <p>2.寸法と文字</p> <p>3.面貼り・色付け</p> <p>4.3DCAD概説</p> <p>5.テーブルの3D化</p> <p>6.図面のレイアウト</p> <p>7.収納棚の三面図</p> <p>8.収納棚の3D化</p> <p>9.出力と電子化</p>									
3 インテリア製図作製	<p>1.平面図作成</p> <p>2.展開図作成</p> <p>3.他データの挿入一応用</p> <p>4.3DCG用図面化</p> <p>5.CG画像の読込・レイアウト</p> <p>6.出力・プレゼンテーション</p>									
評 価										
作品課題及び平常点による総合評価										
教 材										
						担当講師	姉川 剛			

科目	卒業制作		必修	履修学年	2	単位数	6	時間数	180
目標	2年間建築学を学んだ上で、集大成として卒業制作を行う。建築研究、作品研究、設計など各プロジェクトを決定し取り組む。								
内 容									
1 各プロジェクトの選択									
2 各プロジェクトの方法									
3 各プロジェクトの実施									
4 各プロジェクトのプレゼンテーション									
5 作品集の制作									
評 価									
制作課題に対する総合評価									
教 材									
						片平 眞知子 高橋 潤 松山 哲則			
						担当講師			